

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
町民の皆さまには、清々しく新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。
しかしながら、昨年からのコロナ禍での年始となり、何かと皆様には行動の制約や自粛が余儀なくされていると推察いたします。
そうした中で、今年の干支は「辛丑」となっております。「辛」とは思い悩みながらゆくりと衰退しながら、痛みを伴う幕引きを意味するそうです。「丑」は、発芽直前の曲がった芽が種子の硬い殻を破るうとしていた状態で、命の息吹を表していると言われ、今にもはち切れそうなくらいの生命エネルギーが充満している状態であると言われています。
今年の「辛丑」はまさに、コロナ禍を衰退させ、痛みを伴う幕引きと大きな命の息吹が互いを生かし合い、強め合うことを意味しています。
つまり、衰退や痛みが大きければ命の初動が大きくなり、息吹が大きければその分激烈に枯れる。辛いことが多いだけ大きな希望が芽生えることを指し示しています。
令和3年は、1年近いコロナ禍の根を枯らし、1日も早く安心して生活できる生活環境の創出と、あちこちに息吹いている好循環なまちづくりの息吹を拡大させ、活力あふれるまちづくりを力強く推進してまいりますので、町民の皆さまの一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。
改めまして、本年も皆さまにとりまして、幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。
四万十町長 中尾 博憲

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
昨年は新型コロナウイルス感染症が世界中で蔓延し、終息が見えない中で、新年を迎えました。
日本中の生活が大きく変わり、町民の皆さまにおかれてましては例年とは違う新年を迎えられたことと存じます。
四万十町議会もコロナ禍の中、感染防止に努めつつ、これまで同様地域に入り、町民の皆さまの声、ご意見を聞き、執行部に届けて参りました。
大きな課題となっている「文化的施設整備事業」は、新型コロナウイルス感染症の影響で計画が遅れておりますが、今後とも慎重に審議を進めていきたいと考えています。
本年も執行部からの予算や議案の審議についてはチェック機関としての役割を果たせるよう、十分に議論を重ねる所存です。また、これまで以上に町民の皆さまのご意見を聞くとともに、情報提供に努めて参ります。
新型コロナウイルス感染症の1日も早い終息を心から願うとともに、新しい年が町民の皆さまにとって、明るく希望の持てる幸多い年になりますことを心より祈念し、新年のご挨拶といたします。
四万十町議会議長



▲高校時代は攻守の要!!

「じゅうく。」のスタッフ紹介・第3弾。今回は小野崎すみれさん。お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科4年生で、現在は休学して「じゅうく。」に参画しています。文教育学部というのは、聞けば「ほぼ文学部」だそうで、3年生の時の小野崎さんは、宮沢賢治の研究に没頭したのだとか。
ご出身は、東京都東村山市。地元の小・中学校を卒業して、高校へはなんと40分ペダルを漕いで通い続けた強者。その高校時代はソフトボール部で2番セカンドというチームの要でがんばりました。その時、ショートを守っていたつ上の先輩がお茶ノ水女子大に進学して、東日本大震災の被害で遺児、孤児になつてしまった子どもたちの支援ボランティアに取り組んでいたことが、小野崎さんの進路選択に大きく影響しました。
先輩と同じ大学に入学した小野崎さんは「先輩の真似をして」そのボランティアに参加。もともと子どもが好きだったこともあり、将来は教師になろうと思っていた小野崎さんは、さまざまな活動をしながらの日々の中で、たまたまFounding BaseのことをFacebookで知ることになります。そして、ある教育関係のイベントに参加した時に「じゅうく。」のスタッフと知り合い、「じゅうく。」の活動にとても興味を持ちました。また「じゅうく。」のスタッフも小野崎さんに興味を持ってくれたそうです。



おのざき 小野崎 すみれさん

「スタッフとして誘っていたのですが、休学するという選択肢を考えていなかったのですごく迷いました」という小野崎さんでしたが、ある人が言ってくれた「休学っていう決断をするのって、あなたらしいよ」という言葉に背中を押されるように、休学しての「じゅうく。」への参加を決めたのだそうです。「誘ってくれる今が、挑戦できるチャンスだ」という思いもありました。小野崎さんは振り返ります。「東京にいたときは、ここに全てがあると思っていましたけど、ここに来て、今まで気づかなかったものがたくさんあるなと思いました」という小野崎さん。さらに「私が楽しくなければ、生徒のみんなも楽しくないだろうし、生徒のためは私のため、私のためは生徒のためだと思っています」とも。
四万十町にまた一人、楽しくて明るくて頼もしい若者がやってきました!!

Let's cooking!! おうちで給食レシピ

十和学校給食センター編

里芋のクリームシチュー

【材 料】(4人分)

- ・鶏もも肉……………1枚
- ・さといも……………160g
- ・にんじん……………60g
- ・たまねぎ……………160g
- ・ぶなしめじ……………40g
- ・グリーンピース……………20g
- ・ホワイトルウ……………60g
- ・粉チーズ……………大さじ1/2
- ・塩……………少々
- ・こしょう……………少々
- ・水……………360g
- ・コンソメ……………4g
- ・牛乳……………160g



＜作り方＞

- ①鶏肉・さといもを一口大、にんじんを乱切り、たまねぎをくし切りにし、しめじをほぐす。
- ②鶏肉を炒める。
- ③にんじん・たまねぎを入れて軽く炒める。
- ④さといもと塩・こしょう・水を入れて煮る。
- ⑤しめじ・グリーンピースとホワイトルウ・粉チーズ・牛乳を入れてコンソメで味を調節しながら、煮詰めたら、できあがり。



11月 学校給食食材の放射能測定

	検査期間	セシウム134	セシウム137	ヨウ素131
窪川学校給食センター	11/2～9	不検出	不検出	不検出
大正学校給食センター	11/2～9	不検出	不検出	不検出
十和学校給食センター	11/2～9	不検出	不検出	不検出

実施日：令和2年11月25日
検査機関：株式会社 日本食品エコロジー研究所 食品分析センター

※不検出とは測定下限値未満(<1.0Bq/kg)であることを示しています。検査に使用する食材は、約1週間分の原材料(調味料を除く)です。一定量を混合試料にして検査します。